

公益社団法人日本武術太極拳連盟

シニア国際競技大会派遣選手選考の規程と基準

強化合宿対象者の基準

2024年(令和6年)3月

■以下の基準は 2025 年度から実施する。毎年の基準の詳細は事前に公表を行って運用する

2024 年度は規程と基準の周知を広く図り、代表と強化合宿対象者は出来る限り基準に沿った選考を行う

■派遣選手選考基準の要点

1. 複数の機会を経て決定する

- ① 能力が高い選手であっても重要なところで失敗する者は、実力発揮が難しい
- ② ルールに則る平等な機会ごとに発揮される実力を測り、年間を通じて結果による順位決定を行う

2. 公平公正に行うため数字を選考の基準にする

- ① 国際競技会派遣選手選考規程に従って公表して実行する
- ② 日本代表選手団選定委員会に選考の過程と結果を説明し、承認を得て最終決定が行われる
- ③ 選考に関する不服申し立てや不選考の理由を選手本人から求められた場合は、これを受理し説明を行う義務を果たす

3. 選考のシステムを設ける

- ① 選考会を実施し、成績によるポイント制で年間の順位を決定する
- ② 東西の強化委員会はポイント制を基本に、訓練参加状況、怪我や病気の程度、内部テスト実施の場合はその結果等を勘案し、全日本選手権大会及び強化合宿の参加対象者を推薦する
- ③ 選考会にはシニア強化指定選手が参加できる
- ④ 国際的な競技力を測るため、強化委員会委員長、ヘッドコーチ、審判委員会が演技レベルの順位付けを行い、採点ルールとは別の得点制を設けて成績順位の決定に寄与する

4. 連盟の経済的負担を軽減する

- ① 選手側も経費負担を行う
- ② 選考会の参加を強化指定選手に限りオープンにし、全員から一律の参加費を徴収する
- ③ オープン参加時の移動、宿泊等は各自手配とする
- ④ 東西強化委員会から推薦された選手の強化合宿参加費は、従来通り連盟負担(あるいは一部選手負担)とする
- ⑤ 強化合宿の全体経費を軽減するように委員会で図り、派遣が決定した代表の海外派遣等々に経費を充てる

## ■派遣選手選考の基準

### 1. 第一次選考会を実施(春季強化合宿直前:参加費を徴収しオープン参加)

- ① 競技形式で行う
- ② 全套の演技を採点する
- ③ 太極拳 2 種目、長拳・南拳は 3 種目を実施
- ④ A 組(規格減点)、C 組(難度+接続加点)の採点を各3人以上で最新の国際ルール(2024 年は「2019 年版」)を運用、手作業の場合は過半数の認定によって加減点

B 組(演技レベル加点)は「演技レベルの順位付け」を行い、順位による得点制とする

1 位 3.0 点 2 位 2.9 点 3 位 2.8 点 4 位 2.7 点 5 位 2.6 点 以下同様

- ⑤ 選手強化委員会委員長、ヘッドコーチに演技レベルの順位付けを依頼し、国際競技レベル、世界情勢に合わせた順位を判定、得点の平均点を割り出して、B 組(演技レベル加点)の得点とする
- ⑥ 審判委員会から 1 名以上の採点協力を依頼
- ⑦ 他の採点は審判資格を所持する強化コーチに依頼
- ⑧ ABC 組の合計点による得点順位で、各種目(太極拳 2 種、長拳 5 種、南拳 3 種)男女それぞれの上位者(参加人数の約 3 分の 1)を第一次日本代表候補とする
- ⑨ 第一次日本代表候補(各種目男女別、参加人数の約 3 分の 1)に対して得点順位のポイントを付与し、第二次選考まで加算して日本代表を決定する  
1 位 50 ポイント(P) 2 位 40P 3 位 30P 4 位 20P 5 位 10P  
6 位以下0(ゼロ)P

### 2. 第二次選考会・全日本選手権大会(東西の強化委員会から、内部テストの結果等により推薦して参加:参加費は有料)

- ① 各種目(太極拳 2 種、長拳 5 種、南拳 3 種)男女それぞれのメダリストを第二次日本代表候補とする
- ② 各種目のメダル順位に対して以下のポイントを付与し、第一次、第二次選考のポイントを合算して、日本代表候補を決定する(メダル授与がない場合はポイント加算なし)  
1 位 100 ポイント(P) 2 位 80P 3 位 60P

### 3. 派遣する種目ごとに、高ポイント取得者から代表候補に決定する

- ① ポイントの合計が同点の場合は、第一次、第二次選考で取得した成績の 1 位が多い者を選抜する
- ② 1 位が同数の場合は、高難度の構成を優先、あるいは 2 位を多く獲得した者を選抜する

- ③ 1位、2位が同数及び難度構成が同等の場合は、3位を多く獲得したものを選抜する
- 4. 派遣する種目、人数は、国際的な競技力を勘案し、強化委員会が総合的に判断して日本代表を決定する
- 5. 前年の国際大会で3位以内に入賞した実績のある選手が、怪我等のやむを得ない理由でいずれかの選考に参加できなかった場合、不参加の理由の発生前における成績を選考基準に照らして評価し、選考することがある
- 6. 派遣種目のリザーブ(補欠)選手1名を内定し、代表選手の体調不良等による出場辞退に備える

#### ■強化合宿対象者の基準

##### 1. スケジュール

- ①年度の初めに春季及び冬季強化合宿の実施日程(予定)を公表する
- ②選手強化委員会は合宿ごとに種目のレベルを勘案し、参加可能な人数枠から各種目の参加人数を定める
- ③合宿の2ヵ月前には参加対象者を決定し通知する

##### 2. 春季合宿(4月下旬～5月初旬)

- ①2月下旬までに参加対象者を推薦
- ②ランキングAクラスの選手は、ポイント順位に関わらず優先的に推薦することができる(ただし怪我、病気の場合には東西強化委員会が決定を行う)

#### ※2024年度(2月選手強化委員会会議で決定)

- ①2023年日本代表選手
- ②①の人数を超えない程度の人数を選考
- ③高難度をこなせる選手
- ④若手有望選手

##### 3. 冬季合宿(12月下旬～1月初旬)

- ①10月下旬までに参加対象者を推薦
- ②全日本選手権大会終了後のポイント順位(各種目男女)の上位から順に選抜
- ③ランキングAクラスの選手は、ポイント順位に関わらず優先的に推薦することができる(ただし怪我、病気の場合には東西強化委員会が決定を行う)

以上